

新潟労福協

No. 5 2011年4月25日
一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
E-mail: ni-rfk@bz04.plala.or.jp
URL http://niigata.rofuku.net/
発行人 江花 和郎



私たちが暮らす社会

新潟県労福協理事長 江花 和郎

東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

大地震、大津波、そして放射能、悲しみと苦悩が日本を覆いました。しかし私たちは立ち上がります。戦後、私たちの親たちがあの焦土から復興を遂げたように。

まず被災者を支えましょう。自分ができることを、無理はせずに、息の長い取り組みです。

元気を出しましょう。委縮せずに日常を取り戻すことです。

つぎに向かって歩み出しましょう。どの道日本のシステムは見直しを迫られていたのです。これからの社会のあり方をみんなで考え、未来を切り拓いて行こうではありませんか。

自分たちの地域は自分たちで決めてつくる。「自立した持続可能な地域社会の創造」を改めて訴えたいと思います。労福協がすすめるライフ・サポート・センターは「地域の支え合い」が原点です。地域とともに暮らす住民の絆がその社会の暮らしやすさを決めるのだと思います。



～ 避難生活をされている方々のための ～ 心と身体のセルフケア：緊急実施

2011年4月スタート

お気軽にご相談ください。

あなたは“1人”ではありません。

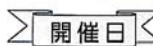
世の中には様々な悩みを持っている人が沢山います。

あなたと同じ悩みを抱えている人もきっといるはず・・・

支援活動中越とながおかライフサポートセンターでは、避難生活が長引いているための応援として「心と身体を守るセルフケア」を開催いたします。

毎回、専門カウンセラーを配置させていただきます。会場は北部体育館向いの長岡市勤労会館2Fフリールームです。

また、フリールームにはインターネットに接続したパソコンが1台ありますので、ご自由にお使いください。



開催日

●毎月第1・第3木曜日 ※5月5日は5月6日(金)に変更し開催

●10:00～15:00 長岡市勤労会館2F フリールーム

(この時間帯であれば何時に来て、何時に帰ってもOK♪)

●参加費 無料 *** 予約は不要です ***

●毎回、専門カウンセラーが配置されます



こんな悩みありませんか？

- ☐ 眠れない
- ☐ 色々な不安や悩み事を聞いてもらいたい
- ☐ 屋間の時間帯の過ごし方のアドバイスが欲しい
- ☐ 同じ場所で退屈だ ...など

ながおかライフサポートセンター内 〒940-0029 長岡市東蔵王2-2-68 勤労会館2階

電話
(0258) 24-0535

受付時間/平日9:00～16:30

ご利用の場合は、なるべく事前連絡をお願い致します。
尚、電話はながおかライフサポートセンターにつながります。

*ながおかLSC

携帯ホームページ*

※バケット通信料は

利用者の負担です

※QRコードが読み込めない

場合は下記を直接入力！

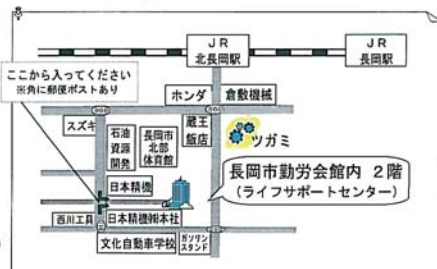
http://ip.tosp.co.jp/i.asp?l=nagaokalsc



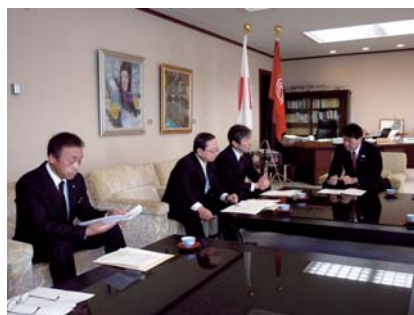
⇒⇒⇒メールでの相談も受付中

アドレス nagaoka-lsc@galaxy.ocn.ne.jp

※「支援活動中越」と「ながおかライフサポートセンター」が運営しています



勤労県民のセーフティネット強化に向け 泉田知事に要請書提出 忌憚のない意見交換を行う



2011年度の県予算編成に反映すべく、勤労県民の生活向上に向けた要請書が2月4日（金）に江花理事長より泉田知事に提出されました。

労福協からは理事長の他、金子・田才副理事長と専務理事が出席。江花理事長からは、格差・貧困・孤立の是正とセーフティネット強化に向けた考え方が示され、同時に、新たな雇用創出に繋がる人材育成について、更にパーソナルサポート事業の取組についての考え方が提起されました。また、金子副理事長からは多重債務対策関係について新潟労金に取り組んできた実情が報告され、県行政の役割についても具体的に提起されました。田才副理事長から国際協同組合年への対応や新しい公共の考え方について、また、協同組合への法人税に関わる動向についても報告と提起が行われました。金子専務理事は勤労者福祉サービスセンターへの県対応について提起されました。

知事は、新しい雇用創出に向けた人材育成を行政主導で行うことの難しさを述べられた上で、セーフティネット強化、多重債務問題、協同組合年、サービスセンターに関わる要請に対しては、概ね賛意を示されました。内閣府が推進しているパーソナルサポート事業については、既存の類似事業や政令市との関わりもあることから、担当間で意見交換を重ねることとなりました。

また、ホットな話題として新潟県と新潟市による「新潟州構想」についても知事から考え方が出され、フリーの意見交換がなされました。

意見交換全体としては、新たな雇用創出への官民挙げた取組が極めて重要であることが共通認識

されました。環境NPOなどでも、新たな分野で働く場を作り上げている事例もあり、雇用創出に向けた戦略会議等で積極的に意見交換を積み上げていくこととなりました。要請行動は限られた時間でしたが、知事と忌憚のない意見交換がなされました。

提出された要請事項については、後日、文書にて回答がなされました。

中央労福協 地方労福協代表者会議開催 パーソナルサポート事業、勤労者福祉SC強化確認



3月10日・11日に中央労福協が主催した地方労福協代表者会議が東京で開催され、働くもののセーフティネット問題などの課題に対する意見交換と意思統一が図られました。

会議ではパーソナルサポート事業のモデル地方からの取組報告も行われました。勤労国民に関わる課題が山積する中でも、国会の与野党ねじれの影響もあって、様々な課題が解決に至らない歯がゆさも指摘されました。

二日目は、勤労者福祉サービスセンター事業について集中的に意見交換がなされました。国からの補助金が打ち切られることで、公務・大企業と中小零細企業間の福利厚生格差が拡大する事への危惧が強く指摘されました。中小では福利厚生以前の低労働条件からの脱却も大きな課題となっており、せめて福利厚生面で国が一定の支援をすべきとの意見が全体で確認されました。

11日午後の会議終了後、東日本大震災で新幹線を含む全交通手段が途絶え、東京で「帰宅難民避難所」で一夜を過ごすこととなりました。



東日本大震災で被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

連合新潟は、カンパ活動とボランティア派遣に取り組んでいます。みなさまからのご理解とご協力をお願いします。

口座番号：新潟県労働金庫 新潟南支店 普通5329929
口座名義：大震災救援カンパ 事務局長 斉藤敏明

連合新潟ホームページ

連合新潟

検索

地域に貢献するNPOや 市民活動団体の力になりたい！

2010年度「NPO等助成事業」は、
18団体に総額813.8万円を助成しました。

【当財団の助成事業】

新潟県労働金庫からの寄付金1億円を基金に、平成15年から10年間の計画
毎年1,000万円をNPO等市民活動団体に助成することで、
勤労者・県民の社会的・経済的・文化的地位の向上に寄与することを目的としています。

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫内
(財)新潟県勤労者福祉厚生財団

地域の
幸せと力に

労働者福祉東部ブロック協議会・第181回幹事会 当面の具体的活動協議 福祉リーダー塾について集中討議

2月21日（月）静岡県沼津市にて東部ブロック協の第181回幹事会が開催され、当面する諸活動の具体化に関わる協議が行われました。また東部ブロックの自主事業である、福祉リーダー塾の今後の展開について集中的な意見交換がなされたところです。

報告事項では、内閣府が主管し、中央労福協が積極的に推進しているパーソナル・サポート・サービス事業のモデル地区の現況報告、地方消費者行政充実、協同労働の協同組合法制化、国際協同組合同年実行委員会など目白押しの活動展開の報告がなされました。

集中討議が行われた福祉リーダー塾は、次世代リーダー育成を目的に2006年にスタートした教育研修事業です。この間、新潟県労福協として連合新潟や労働金庫、総合生協から人選されたメンバーが受講して、各事業や活動に向けたスキルアップの機会として活用されてきました。本事業は、カリキュラムについて講師陣と調整して内容の充実を図ることとなりました。

協議事項では年間諸会議の日程関係の調整、事業団体責任者会議、サポート事業の交流や研修会の開催、ライフサポート事業の経験交流会の開催等について意見交換が図られました。本年10月開催の第184回幹事会は持回り順で新潟開催となることが確認されました。

県央地域ライフサポートセンター

第3回設立準備会で意思統一 4月27日(水) 設立総会・開所式を予定

勤労県民の生活者相談事業や地域活性化に向けた事業展開を行っている県ライフサポートセンター（LSC）の県央地域での設立に向けた第3回設立準備会が4月5日（火）県央地域の事務局で開催されました。

会議には現地の連合県央地協、労働金庫、総合生協の各代表、県LSC、そしてコーディネーター就任予定者が出席。運営規則（案）、事業計画（案）、役員構成（案）や事務局配置（案）などについて意見交換がなされ、設立総会・開所式を4月27日(水)に行うことが確認されました。

県央ライフサポートセンターは、三条市勤労会館に入居・活動している連合県央地協事務局内に設置されます。コーディネーター予定者は労働金庫OBで、ながおかLSCの役員も経験されたベテランです。地域LSCでの相談事業の確立には地域に顔の見える広報活動展開こそが成否を左右してきたことから、チラシのポスティング行動など足を使った活動が今後検討されます。

当面のスケジュール

- 4月29日（金）第82回県中央メーデー
- 5月16日（月）第24回チャリティーゴルフ大会
- 5月20日（金）県労福協第87回理事会
県ライフサポートセンター第7回理事会
- 5月22日（日）～23日（月）
東部ブロック第182回幹事会
- 6月 8日（水）県労福協第26回定時総会
県ライフサポートセンター第3回通常総会
- 6月 9日（木）～10日（金）
中央労福協全国研究集会
- 6月15日（金）～16日（木）
中央労福協「理念・歴史講座」
- 7月 9日（土）内閣府参与「湯浅誠氏」講演会

※企画中止のお知らせ

6月29日（水）～7月6日（水）に予定されていたハバロフスク地方労働組合「少年少女友好使節団受入事業」は、地震・津波・原発事故についての心配から「見合わせたい」旨の連絡が入りましたので中止いたします。



KuruCo

総合生協の宅配

春のおたしキャンペーン

キャンペーン期間 2011 3/1 Tue ~ 6/30 Thu

新規ご加入でうれしい3つの特典!

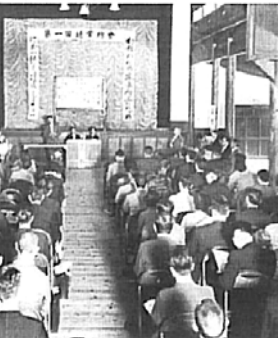
お問い合わせ 資料請求

KuruCo コールセンター 9:00~19:00(土日除く)

0120-025-261

<http://www.niigata.coop/>

総合生協 検索

新潟ろうきん創立記念の様子 1952年(昭和27年)5月

これまでも、これからも 物語の主役は 「働く人たち」です。

ろうきんは働く人の社会的・経済的地位の向上と福祉の増進を目指し、働く人たちの熱い期待を担って創設されました。

新潟県労働金庫

0120-191-880
(平日9:00~17:00)

新潟ろうきん 検索



知っ得情報

夢咲Clubの組織改編に伴う 新役員体制のご案内について

本部事務局移転後、県内の支部組織改編に向けて条件整備を進めてきましたが、
このたび平成23年2月1日をもって新組織が設立され、県内5支部の新役員が選出されました。

※役員体制は平成23年3月1日現在、役員変更等を含む4月以降の体制はホームページ上に掲載します。

夢咲Club本部

会 長 田中 秀俊(新潟)
副 会 長 小口 幹久(上越)
// 近藤 太一(長岡)
// 今井 俊博(新発田)
事務局 長 石井 富男(新発田)
監 事 新村 栄(新潟)
// 米田 東逸(新潟)

()は出身地

夢咲Club佐渡支部

会 長 正司 政行
副 会 長 本間真佐栄
事務局 長 山本 敏昭
幹 事 岡田 正幸
// 佐々木 謙
// 傳田 常雄

夢咲Club上越支部

会 長 小口 幹久
副 会 長 石川 光司
// 笹川 孝昭
// 斎藤 公男
// 佐藤 正典
事務局 長 早川 英雄
幹 事 太田 茂

夢咲Club中越支部

会 長 近藤 太一
副 会 長 野本 俊幸
// 吉田 光善
// 井沢 一男
// 羽吹 正
// 高橋 博
// 鶴巻 信二
// 長谷川 徹
事務局 長 小林 守
幹 事 本名 勉

下越支部

会 長 今井 俊博
副 会 長 三須 淳
// 斎藤 正
// 松尾 寿弘
// 皆川 正裕
事務局 長 久志田 実
幹 事 小柴 清作

夢咲Club新潟支部

会 長 田中 秀俊
副 会 長 花沢 光永
// 新村 栄
// 渡辺 章衛
// 阿部 仁
// 田村 貞一
事務局 長 渡辺 治
幹 事 南場 朋晃
// 山口 輝一
// 間島 伸二
// 高橋 良宣

事務局所在地

夢咲Club本部 新潟市中央区新光町6-2 勤労福祉会館内
新 潟 支 部 新潟市中央区万代1-6-1 パスセンタービル内
上 越 支 部 上越市西本町1-1-38 総合生協内
中 越 支 部 長岡市東蔵王2-2-68 勤労会館内
下 越 支 部 新発田市本町1-1-6 総合生協内
佐 渡 支 部 佐渡市東大通1292-1 連合佐渡地協内
(事務局は上記所在地の各ライフサポートセンター内に設置されています)

労金のご利用は従来と変わりありません。
最寄の店舗でご利用いただけます。

頑張ろう! コープトラベルセンターお勧め商品
にいがた

月岡温泉
ホテル 清風苑
カラオケ温泉ランチ

個室カラオケる〜む
3時間利用 ●昼食「特製お弁当」●入浴

★特典
個室でカラオケ3時間歌い放題

★お食事
季節のお弁当を「個室カラオケる〜む」にて。
お子様連れの方には
.....お子様のお食事にオムライスをご用意

★ご利用時間
Aコース Bコース
10:00〜13:00 13:00〜16:00
ご利用時間内のご入浴OK
(タオル150円、バスタオル350円は別途料金
になります。)

★料金
大人 4,500円 子供 3,150円
※3才〜12才までのお子様。お食事はオムライス
※5才以下のお食事不要のお子様は無料です。

●お問い合わせ・申し込みは ●総合生協グループ
株式会社 コープサービス 〒950-0086 新潟市中央区花園2-1-6
総合旅行業務取扱管理者 高橋 孝
025-245-4110
新潟県知事登録旅行業第2-321号 全国旅行業協会正会員 【受付時間】月曜日〜金曜日(祝日除く)9:00〜17:00

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる
勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】

(平成23年3月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高(千円)
無担保ローン	8,671,582
住宅ローン	104,482,280
合 計	113,153,862



〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38

財団法人 新潟県労働者信用基金協会

賞品相当額+チャリティー金は全額大震災の義援金

開催日 2011年 5月16日(月)
開催場所 フォレストカントリー倶楽部
新発田市万代855番地
Tel (0254) 32-3333、 Fax (0254) 32-2582

主催 一般社団法人新潟県労働者福祉協議会
協賛団体 連合新潟、新潟県労働金庫、新潟県総合生活協同組合
大会目的 県内勤労者の親睦交流を深めるとともに、労働団体・福祉事業団体の結束を強め、労働者福祉運動の前進と各事業団体の事業推進を図る。
併せて、働く仲間の善意のカンパを恵まれない人たちに寄贈し、助け合いの輪を広げる。今回は、賞品贈与を取りやめ、東日本大地震・大津波・原発事故・風評の複合災害の被災者支援にチャリティー金を合わせて寄贈します。

プレー代 12,000円程度 ※プレー代は各自フロント精算
※食事代は注文品により一部自己負担、昼食時の飲み物は自己負担

※賞品贈与は取りやめ、賞品相当額全額とチャリティー金全額は、東日本大震災による被災の義援金とします。
※詳細は県労福協へ問合せ願います。

参加賞は参加者全員、ドラコン・ニアピン賞は当初予定通り贈与あり

一般社団法人

新潟県労福協・新事務局長 紹介



新潟県労福協
事務局長 大瀧幸二

はじめまして、大瀧幸二です。
3月まで、新潟県労働金庫に勤務していました。この間、福祉金融機関の一員として、働く人たちが誰もが、「豊かで・安心して・ゆとりある暮らし」がおくれるよう金融部門を通じて生活応援運動を行ってきました。

その経験を活かし、これからは微力ながら「支え合い」の精神で、労福協運動の発展と働く人たちの福祉向上と誰もが生きがいをもって充実した生活が過ごせるよう、お手伝いをいたす所存です。

総務と国際交流を担当します。
よろしくお願いいたします。



新潟県労福協
事務局長 小野塚勝一

小野塚勝一と申します。
4月1日より総合生協から出向で新潟県労福協の事務局長としてお世話になっております。

私はライフサポートセンター事業など県民生活関連を主体に担当しますので、関係各位のご指導をお願い申し上げます。

労福協は、市民・勤労者の生活向上を目的に様々な運動と事業を展開しています。所謂、協同組織と言えます。これからの時代、協同組織への期待が高まり、心豊かで安心できる暮らしを求めている市民・勤労者の一助になるよう微力ではございますが、頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

勤労者の暮らしをサポート 育成会

正式名称

「勤労者とその家族の暮らしに役立つ活動を支援・育成する会」

- 育成会は新潟労金に加入している団体会員（県内約2400会員）によって構成されています。
- 育成会には労金本支店所在地で活動する25の地区育成会があります。それぞれの地域で勤労者福祉の前進に関する諸活動を行っています。

夢咲Clubのご案内



夢咲Clubは労金に加入していない勤労者の方が、労金を利用する際に加入いただくメンバーズクラブです。預金、給与振込、公共料金自動振替をはじめ、住宅ローン、マイカーローン、教育ローンなど、各種ローンのご利用が出来ます。

<ご加入資格>

県内に居住または勤務する勤労者の方。
入会時に500円（加入金）が必要となります。

地域ライフサポートセンター 相 談 受 付 件 数

<2010年度>

新潟県ライフサポートセンター

LSC名	設置来 総合計	構成比 %	2010/4～ 2011/3	構成比 %	10/4	10/5	10/6	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	11/1	11/2	11/3	
合 計	1,903	100.00	1,010	100.00	87	81	99	88	86	75	93	90	65	65	80	101	
佐 渡	174	9.14	53	5.25	8	2	4	4	3	3	2	7	4	6	5	5	
にいがた	91	4.78	84	8.32	8	8	8	6	4	16	14	10	3	2	2	3	
下 越	111	5.83	101	10.00	15	13	23	8	14	2	6	3	1	2	3	11	
(県 央)																	
ながおか	1,332	69.99	668	66.14	51	53	56	62	59	49	53	60	43	47	63	72	
ながおか	1,078	56.65	556	55.05	40	40	53	51	50	44	47	51	33	36	52	59	
みつけ	95	4.99	43	4.26	0	1	3	10	3	3	2	5	3	5	1	7	
おぢや	41	2.15	15	1.49	2	8	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	
北魚沼	19	1.00	6	0.59	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3	0	
南魚沼	42	2.21	15	1.49	4	0	0	0	3	0	1	0	2	1	4	0	
十日町	57	3.00	33	3.27	5	4	0	0	2	0	2	4	5	4	2	5	
(柏 崎)																	
じょうえつ	195	10.25	104	10.30	5	5	8	8	6	5	18	10	14	8	7	10	
上 越	153	8.04	83	8.22	4	5	7	5	5	5	16	8	11	6	5	6	
糸魚川	42	2.21	21	2.08	1	0	1	3	1	0	2	2	3	2	2	4	
心と身体を守セルフケア利用者数 (ながおかライフサポートセンター)					人数	15	18	26	28	29	26	32	22	25	16	23	28
					組	10	13	20	23	25	24	29	20	23	15	21	26
					開設来人数	15	33	59	87	116	142	174	196	221	237	260	288
					開設来組数	10	23	43	66	91	115	144	164	187	202	223	249

カラスの勝手？

●3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の犠牲者・被害をもたらし、今なお多くの地域で地震・津波・原発・風評という複合災害に痛めつけられています。全ての犠牲者に謹んで哀悼の意と御見舞いを申し上げます。●県労福協は労働者福祉東部ブロック協議会の一員として義援金などの支援協力を行っています。連合新潟、労働金庫、総合生協をはじめとして各団体も全国組織との連携や独自に支援活動を展開しています。労福協が提起している「支え合い」「絆」「助け合い」という理念が文字通り実践される局面が突きつけられています。●新潟県内で受け入れている福島県など県外からの避難者が4月14日現在で8,361名となり、どんどん増加しています。地域ライフサポート事業として「避難生活をされている方々のための心と身体のセルフケア：緊急実施」も開設され、カウンセラーによる専門的な対応が開始されています。相談事業のチラシを行政担当者が配布する所も出始めました。連合やNPO団体と連携した活動への参加も開始されています。●支援活動は、災害発生時に直ちに開始されるべき活動と、息長く続けられてこそ効果が出てくる活動など様々です。この度の深刻な複合災害は、深刻度、広範な課題、相当程度長期化が予想されるロングランの支援が求められています。雇用や経済、放射能の影響の深刻さは、被災地のみならず全国・全世界に及びつつあります。まさに他人への支援という視点ではなく、全国民のわが身のこととして「支え合い」「絆」「助け合い」があたり前の社会再構築の場が与えられたものとして運動構築されなければなりません。●自然豊かな日本。裏返せば、日本は自然との調和を重視した制度設計が必要です。この復興デザインは、科学力・技術力・感情論を定規にして図るべきではなく、自然との調和と間合いを最重視して組立てるべきだと思います。●初めて受給する年金1回分を義援金に充てる人がいます。誰でも「必ず何かできる」はずです。

一般社団法人新潟県労働者福祉協議会を構成する団体紹介

日本労働組合総連合会新潟県連合会（連合新潟）、新潟県労働金庫、新潟県総合生活協同組合、(財)新潟県労働者信用基金協会、(財)新潟県勤労者福祉厚生財団、(株)コープサービス、連合新潟高齢者協議会